

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

() 月 日 曜日

頂上とうたつ太鼓岩

神山小 五年 日高 幸成

ブルーンバスが止まり、白谷雲水峡に
みんをで着いた。

二つのチームに分かれて、今、太鼓岩に出
発しようとしている。ウキウキしながら
第一歩目をふみだした。少し歩くと、川が見
えてきた。中心に大きな岩があった。その上
を歩くのだ。すべらないように歩く。それが
らつりばしが見えてきた。あまりゆれなかつ
た。

わたりおえると、ついに森の中に入った。
森に関するクイズが出た。その中で気になっ
たのは、ヒメシヤラという木だ。ヒメシヤラ
は、昔、クラーがわりになっていた。と聞
いた。さわつてみると、とても冷たかった。
ほかの木には、コケが付いているけど、ヒメ
シヤラはコケが付かないのでめだつてわかり
やすい。コケが付いていないのは、自分でか
ゆをはいでいるから付いていないそうた。

16. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

もオレンヅ色でめだちやすく、遠くにあつて
 も見つけやすい。
 とちやう歌をうた。丘り、すれちがう人に
 あいさつをしたりした。それから、おべん当
 は、みんなで月になつて食べた。みんなで食
 べるだけでもおいしいけれど、森で食べるお
 べん当は、倍おいしい。食べおめると、川の
 水をさわった。とても冷たくて、飲んでみる
 と、おいしかった。
 さらに登つていった。外国人の人にもあい
 さつをしたりした。いろいろな国の人と会った。
 いつとき歩いて上を見ると、光が見えてきた。
 ついに太鼓岩に着いた。みんなで写真をと
 った。ついで下を見ると、ドキドキしてこわかっ
 た。回りを見わたすと、全部山だ。下を見る
 と、もう一つ大きな岩があった。行けそうで
 みんなで行った。でも、ぼくは、こわくて行
 けなかった。
 帰り道は、ポツポツ雨がふつてきた。みんな
 な、いそいでカツパを着たけど、寒かった。

No. 2

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



